

はくぶつかん ネット第49号

宜野湾市立博物館発行



ぎのわんの“字”展

ガニクヒラマーチャー

我如古平松やふんしからゆたさ

我如古ムラ

毎年2月に宜野湾市内の1つの字を紹介する地域との共同企画展「ぎのわんの字展」も今年で7回目を迎えました。今回は「我如古区」にスポットをあて、「ぎのわんの“字”展 我如古平松やふんしからゆたさ 我如古ムラ」(平成26年2月5日～3月2日)を開催しました。

展示会では、我如古の字紹介をはじめ、我如古平松の写真資料やスンサーミーの衣裳、綱引きに使われている綱や銅鑼など、我如古に関する様々な資料を展示しました。我如古平松のコーナーでは、その大きさに驚きの声を上げる子ども達や、平松の思い出を語る先輩方もいらっしやいました。また、以前スンサーミーを踊っていたという方々の来館も多く、みなさん当時の懐かしい映像に見入っていました。

ご協力いただいた我如古区自治会、我如古スンサーミー保存会、貴重な資料をご提供くださいましたみなさん、本当にありがとうございました。



我如古ってどんな地域？

現在は、大学や図書館、病院など大きな施設が立ち並ぶ我如古ですが、戦前は周辺に田畑が広がる農村地域でした。主にサトウキビやイモ、豆類を育てており、一部の地域では稲作も行われていました。特にサトウキビの栽培が盛んで、集落内には10ヶ所のサターヤー(砂糖小屋)があり、黒糖にして売っていたそうです。

また、市の文化財第一号でもある我如古ヒージャーガーや市指定無形民俗文化財の我如古スンサーミーなど、素晴らしい文化財が残る地域です。ほかにも、名木としてその名を知られた我如古平松があった地域としても知られています。



オープニングセレモニー



2月5日(水)に、ぎのわんの字展「我如古平松やふんしからゆたさ 我如古ムラ」のオープニングセレモニーを行いました。セレモニーでは、テープカットの後に、スンサーミー保存会のみなさんによる、我如古スンサーミーも披露され、地域の方々やマスコミも駆けつけました。たくさんの拍手に包まれ、しなやかな手踊りとともに、展示会がスタートしました。

企画展ちょこっと解説！

◆我如古平松



県内でも名木として知られた我如古平松。その幹回りは約4.5メートルもあり、左右に広がった枝振りは約300坪にも広がっていたそうです。木の下ではムラの集会や記念撮影などが行われ、スンサーミーも踊られていました。

残念ながら、沖縄戦によりその姿は失われてしまいましたが、その素晴らしさは、今も多くの人々の心に生き続けています。現在は、2代目平松を我如古区公民館の広場で見ることができます。

◆我如古スンサーミー



旧暦の3月3日の三月遊びで踊られる踊りです。我如古スンサーミーは戦前から有名で、近隣の集落から見物客が訪れるほどでした。戦前は我如古平松の下で踊られ、踊りに参加するのは未婚の女性でした。戦後は婦人会が中心となって伝承され、旧暦の3月3日以降の週末に我如古区公民館で踊られています。また、平成25年には我如古スンサーミー保存会が発足され、これからの活躍が期待されています。

おもしろ

年中行事

★トウシヌユルー(年の夜)

大晦日のこと。

我如古では、天井のネズミにも年を取らせるために、^{はり}梁などに「部屋へ(ネズミが)上がりませんように」とお願いしながら、握り飯を置いたそうです。



★ムラウバギー

我如古では、この一年で生まれた子ども達の合同祝がありました。これは、この年、ムラにどれだけの人口が増えたかを把握するための「人口報告」の意味もあり、宜野湾市内の他の地域では行われていない、我如古独自の行事です。





はくぶつかん 展示室 リニューアル計画!!

宜野湾市立博物館は開館して平成26年6月で15年が経ちますが、開館以降の研究成果により、学説が変わった内容や新たに発見された資料も出てきました。そのため、展示内容を、最新の研究成果に合わせて、さらに充実させていくことになりました。

そこで、現在の常設展示室について、みなさまからのご意見を募集しています。「あの博物館にあったような展示が、宜野湾市にもあったらいいな」「この展示方法は面白くないから変えた方がいい」「もっとイラストがあったら分かりやすい」など、みなさんの熱い思いをお待ちしています。



—ポストカード(全5種)—



普天満宮と宜野湾並松



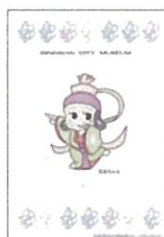
宜野湾馬場



宜野湾並松



森の川



天女ちゃん

Present♪

博物館に設置されている(もしくは博物館ネットに入っている)リニューアルに関するアンケートにお答えいただくと、博物館の窓口で、もれなく左にある素敵なポストカード(1枚)がもらえます。



おすすめ展示



気分は鳥!? 宜野湾市をのぞいてみよう!

宜野湾市の現況もわかる

— 地形模型 —

常設展示室の中央にある宜野湾市の地形模型は、大人から子どもまで、思わず覗き込んでしまうほど細かく作られています。平成10年の建物や道が再現され、宜野湾市の地形や市街地の様子を見ることができます。また、模型のまわりにある4ヶ所のコーナーのボタンを押すと、模型の上のランプが光り、一目で宜野湾市の遺跡や軽便鉄道跡や宜野湾並松、米軍基地の様子なども分るようになっています。

第14期わらば～体験じゅく

わらば～体験じゅくは、市内の小学生5～6年生30人を対象に、普段触れることの少ない自然や郷土の歴史・文化について、体験を通して身近に感じ、学んでもらうことを目的とした体験型教室です。第14期の28名の子ども達は、最初は緊張していた様子でしたが、回を重ねるごとに打ち解けて、新しくできた他校のお友達とも協力し合い、仲良く取り組んでいました。今年度も、田イモの植付け・収穫、闘牛とのふれ合い、しめ縄作りなど、様々な体験を行いましたので、ここで紹介したいと思います♪

6月 開校式、博物館探検・昔の道具体験

講師：博物館職員

第14期はじめてのわらば～体験じゅくでした。開校式では、博物館の先生やわらば～達の自己紹介を行いました。そのあと、謎に包まれた博物館内の探検や、昔の仕事などに使用された道具の体験を行いました！



7月 村獅子を探せ！

講師：博物館職員

戦前から字喜友名を守り続けている喜友名の石獅子群(市指定有形文化財)を、地図を片手にウォークラリー形式で巡りました。見つけたことのできた7体の村獅子は、どれも個性あふれるユニークな姿をしていました！



8月 田イモの植付けに挑戦してみよう！

講師：石川 達義先生(大山田イモ農家)

市の特産物である田イモの植付け体験を、大山の田イモ畑で行いました。大きな田イモができるように、気持ちを込めながら植付けを行いました。最後には、田んぼに住むテナガエビや小魚を捕まえて、自然観察も楽しめました。



9月 宿泊学習(野山の観察)

講師：石川青少年の家職員、博物館職員

石川青少年の家で、一泊二日のキャンプに挑戦しました。テントの設営や野外炊飯、ナイトウォークラリー、登山などを通して、仲間との絆を深めました！



10月 ウシとふれ合おう！

講師：宮城 邦治先生(沖縄国際大学教授)、牛舎の方々

かつて宜野湾でも盛んに行われていた闘牛について学ぶため、中城村の牛舎を訪ねました。エサやりや牛舎の掃除、散歩を通して、ウシと仲良くなることができました。また、強い闘牛になるための練習も見学しました！



11月 世界に一つだけの漆喰シーサー作り

講師：比嘉 和行先生(わにや耕房代表)

瓦と漆喰を自由に組み合わせる、漆喰シーサー作りを行いました。わらば～達一人一人の自由な発想で、たくさんの芸術性あふれるオリジナルシーサーが誕生しました！



12月 しめ縄をつくってみよう

講師：城間 健二先生(普天間小学校校長)

お正月用に飾られている、しめ縄作りを行いました。しめ縄に使う稲ワラやしめ縄の飾りに込められた思いについて学習した後に、友達と協力し合いながらしめ縄を作成しました！



1月 田イモの収穫に挑戦してみよう！

講師：宮城 徳康先生(大山田イモ農家)

大山の田イモ畑で、田イモの収穫体験に挑戦しました。とても寒い中でしたが、わらば～達によってたくさんの田イモが収穫されました。最後には、美味しい田イモ料理の試食会とお土産もありました！



2月 昔のおもちゃづくり、閉校式

講師：松本 眞清先生、田場 典正先生、屋比久 康勝先生

第14期最後のわらば～体験じゅくでは、竹とんぼ作りに挑戦しました。先生達に教えてもらいながら、物作りの楽しさと奥深さを学びました！閉校式では、比嘉館長より、修了証書の授与やわらば～一人名認定証(皆勤賞)が授与されました！



わらば～体験じゅくを終えて

島袋 怜さん(普天間第二小学校 5年生)



わらば～体験じゅくで、この1年間いろいろなことをしてきて、いろいろなことがわかりました。わらば～体験じゅくで大変だったことは、7つのシーサーめぐりです。あついながあるいて、たいへんでした。たのしかったことは、うしとふれあうことでした。うしとあうのはじめてだし、さんぽもできたのでよかったです。いろいろなことがまなべたのでわらば～体験じゅくには行ってよかったです。



東風平 乃愛さん(嘉数小学校 5年生)



私は、このわらば～体験じゅくで学んだことがたくさんあります。その1つは、初めて会った友達とすぐに仲良くできるようになったことです。私は、同じ小学校のまりんさんと一緒にいました。さいしょは、2人で不安だったけど、みのりさんやあゆさん、ゆいなさん、ゆうかさんと仲良くなれてよかったと思いました。2つ目は、初めて体験したことがたくさんあったことです。まずは7月にあったしし像探しや田イモの植付け、宿はく学習で石川青少年の家に行ったこと、シーサーを作ったり、しめ縄を作ったりしたことがあったことから学べました。そして、一番学んだことは、自然の大切さです。みんな体験できたこの少ない日々を大切に、自然を学んでいきたいです。わらば～体験じゅくをやってよかったです!!!



ますますたくましく、頼もしくなったわらば～のみんな★
一年間よく頑張りました!!!

NEW!



第15期じゅく生募集のお知らせ

わらば～体験じゅくは、毎年5月ごろに募集を行います。
来年度もぜひ、みなさまのご参加お待ちしております!

平成25年度

博物館市民講座

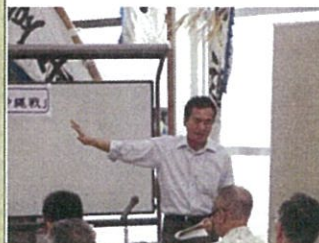
今年度も、市内外から宜野湾市の歴史や文化に興味を持った多くの方が、市民講座に参加してくださいました。各講座をご受講して下さった皆様、ご講話いただいた講師の皆様、本当にありがとうございました。

これからも楽しみながら学んでいける市民講座を企画していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します！



6月「戦争遺跡にみる沖縄戦」

講師：吉浜 忍（沖縄国際大学教授）



沖縄戦の「生き証人」、「平和の語り部」である戦争遺跡から見た沖縄戦の特徴や保存活用について、お話していただきました。平和について改めて考えさせられる内容でした。

7月「トートーメーの話」

講師：波平 エリ子（沖縄大学、沖縄国際大学非常勤講師）



“トートーメー（位牌）”の歴史や祭祀について解説しました。後半の部では、参加者の位牌継承に関して皆さん積極的に意見を出し合い、グループ討議を行いました。

8月「ウタキめぐり」

野外講座！

講師：新垣 義夫（普天満宮司、宜野湾市立博物館協議会会長）



地域の守り神の「ウタキ」。8月は、市内6ヶ所のウタキを巡り、その特徴を解説する野外講座でした。日差しが強く、夏の暑い中でしたが、無事に終えることができました。

9月「映像にみるアメリカ世」

講師：新里 勝彦（元琉球放送カメラマン）



1950～1960年代の映像を見ながら、当時の沖縄を振り返りました。カメラマンだから知りえた裏話も交えていただき、アメリカ世について詳しく学べる興味深い内容でした。

10月「王府おもとと宜野湾」

講師：比嘉 悦子（宜野湾市立博物館館長）

安仁屋 眞昭（王府おもと伝承15代）



王府時代の儀礼で神歌を歌う“おもと主取”役について、お話していただきました。王府おもとを実際に聴くことができ、貴重なお時間となりました。

11月「近代の足跡を訪ねて」

野外講座！

講師：平敷 兼哉（宜野湾市立博物館学芸係長）



明治期～昭和前期の宜野湾の様子がわかる施設跡や場所をバスで巡りながら、解説を行いました。軽便鉄道路線や普天満宮、我如古上之橋などたくさんの場所を訪れました。

12月「沖縄伝世の古衣装について—15世紀の服飾—」

講師：植木 ちか子（国際服飾学会元理事）



沖縄の古衣装の調査、研究成果から、当時の服飾文化や染色技術に迫りました。多数の実物資料を用いた、視覚的にも楽しい講義となりました。

1月「宜野湾市の“遺跡”を調べる！」

講師：呉屋 義勝（宜野湾市教育委員会文化課課長）



喜友名のヌバタキ遺跡を中心に、発掘調査から分かった宜野湾の歴史やムラ・イエのこと、そして今後の課題を解説しました。皆さん真剣に講話に聴き入っていた様子でした。

2月「めぐてい！イガルーシマー—我如古編—」

野外講座！

講師：平敷 兼哉（宜野湾市立博物館学芸係長）



ウォーキングしながら、我如古区に残る歴史的な場所や文化財を巡りました。昔と今の街の様子の変化を感じながら、我如古の魅力を再発見できました。

団体見学・出前講座



今年度も小学校や学童、大学、デイサービス、旅行団体などなど、多くの皆様にご来館いただきました。

当博物館では、小学校の社会科見学の際に、昔の道具に実際に触れながら体験できる「昔の道具体験」を行っています。見学するだけでなく、子ども達が実際に当時の着物を着てみたり、農具に直接触れることができるので、より楽しくイメージしやすい学習内容になっています。他に、博物館職員による常設展の解説も可能ですので、団体見学を計画されている方は、事前に電話または博物館窓口にてお気軽に職員にご相談下さい。

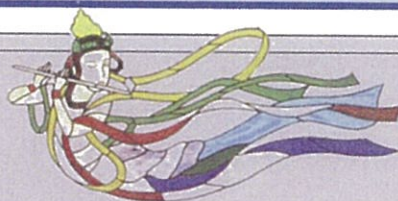
また、市内の学校を対象に、博物館職員が学校へ出向いての出前講座も行っています。博物館に行きたいけれど行くための移動手段がない、時間的に難しいという場合は、ぜひご利用をご検討下さい。事前の打ち合わせが必要になりますので、お早めのご相談をよろしくお願いします。

たくさんのお手紙・メッセージありがとうございました！

大謝名小学校の皆さんからお花の
フランターをいただきました！



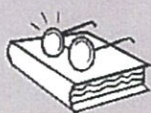
博物館友の会



「宜野湾市立博物館友の会」は、博物館が行う活動の支援を通して、宜野湾市の歴史や文化を学びながら、会員相互の親睦を深めることを目的とした会です。宜野湾市内だけではなく、市外からも広く会員を募集しております。今年度は新規入会の方も多く、友の会の会員数は92名(2014年3月現在)になりました。友の会会員向けの企画展の展示解説会やサークル活動も行っていますので、興味のある方は、この機会にぜひ入会を検討してみたいはいかがでしょうか。

【平成25年度の活動内容】

- ① 友の会定期総会(4月20日)
- ② 「新収蔵品展」展示解説会(6月1日)
- ③ 「イクサユヌジのーん」展示解説会、
第1回サークル活動(6月29日)
- ④ 「人びとの暮らし」展示解説会(8月3日)
- ⑤ 第2回サークル活動(9月28日)
- ⑥ 「近代沖縄と宜野湾」展示解説会(11月30日)
- ⑦ 第3回サークル活動(12月7日)
- ⑧ 「ぎのわんの“字”展～我如古編～」展示解説会(2月8日)



フムフム



↑展示解説会の様子

自然・歴史・文化に興味がある方、博物館が好きな方であれば、市内外、年齢、性別を問わずどなたでもご入会いただけます♪



～博物館友の会についての詳細は、博物館または博物館ホームページまで～

秋の特別展「近代沖縄と宜野湾」を見逃したみなさんへ！！



昨年、秋の特別展「近代沖縄と宜野湾」(平成25年10月30日～12月8日開催)の内容が詰まった図録を発行しました。

図録では、琉球処分から始まる近代化の幕開けと、変わりゆく人びとの暮らし、そして沖縄戦までの時代の流れを、写真資料や地図、グラフなどを用いて分りやすく説明しています。

企画展を見逃してしまったという方は、ぜひこの図録で、近代の沖縄や当時の宜野湾村のようすを感じてみてはいかがでしょうか。

ご希望の方は、博物館の窓口までお声掛けください。



25年度を振り返って



館長：比嘉 悦子

宜野湾市立博物館にとって2013(平成25)年度は充実した1年でした。例年開催されている「新収蔵品展」(5/22～6/9)や慰霊の日の写真パネル展「イクサユヌじのーん」(6/19～6/30)、夏の企画展「人びとの暮らし」(7/24～9/1)、「ぎのわんの文化財図画展」(10/2～10/20)、秋の特別展「近代沖縄と宜野湾」(10/30～12/8)、そして「ぎのわんの“字”展」は我如古自治会と協力して「我如古ムラ」展(2/5～3/2)を開催し、好評でした。また、初めての取り組みとして沖縄県公文書館との共同企画展「資料にみる宜野湾市の戦後」(9/11～9/29)も開催されました。公文書館所蔵の多くの写真、歴史資料などを提供していただき、1945年から始まる戦後宜野湾の歩みをより詳細に紹介することができたと思います。

その他、教育普及事業としての「市民講座」と「わらばー体験じゅく」もそれぞれ9回開催することができましたし、夏休みの「博物館教室」も復活しました。来年度は市立博物館も15周年の節目を迎えますので、15周年の特別記念展も計画されています。今後も市民の皆さまの支援を受けつつ「地域に奉仕する博物館」として発展させていきたいと思っています。再度のご来館をお待ちしています。

- ◆入場料：無料
- ◆開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時半迄)
- ◆休館日：毎週火曜日、祝祭日、年末年始
(文化の日、慰霊の日は開館します)

※火曜日と祝祭日が重なった場合、翌日の水曜日にも休館になります。

〒901-2224

宜野湾市立博物館

宜野湾市真志喜1-25-1

TEL(098)870-9317 FAX(098)870-9316



無料だよ！
みんな遊びに来てね。

